

SAPPORO

とよキラ通信 拡大版

担い手確保・活動負担の軽減&若者参加



項目

「とよキラ通信」では、町内会役員の皆さまに町内会活性化に関する情報を発信しています。今回は、課題解決に向けた取組をロールモデル（取組事例）を紹介しながら拡大版としてご案内します。

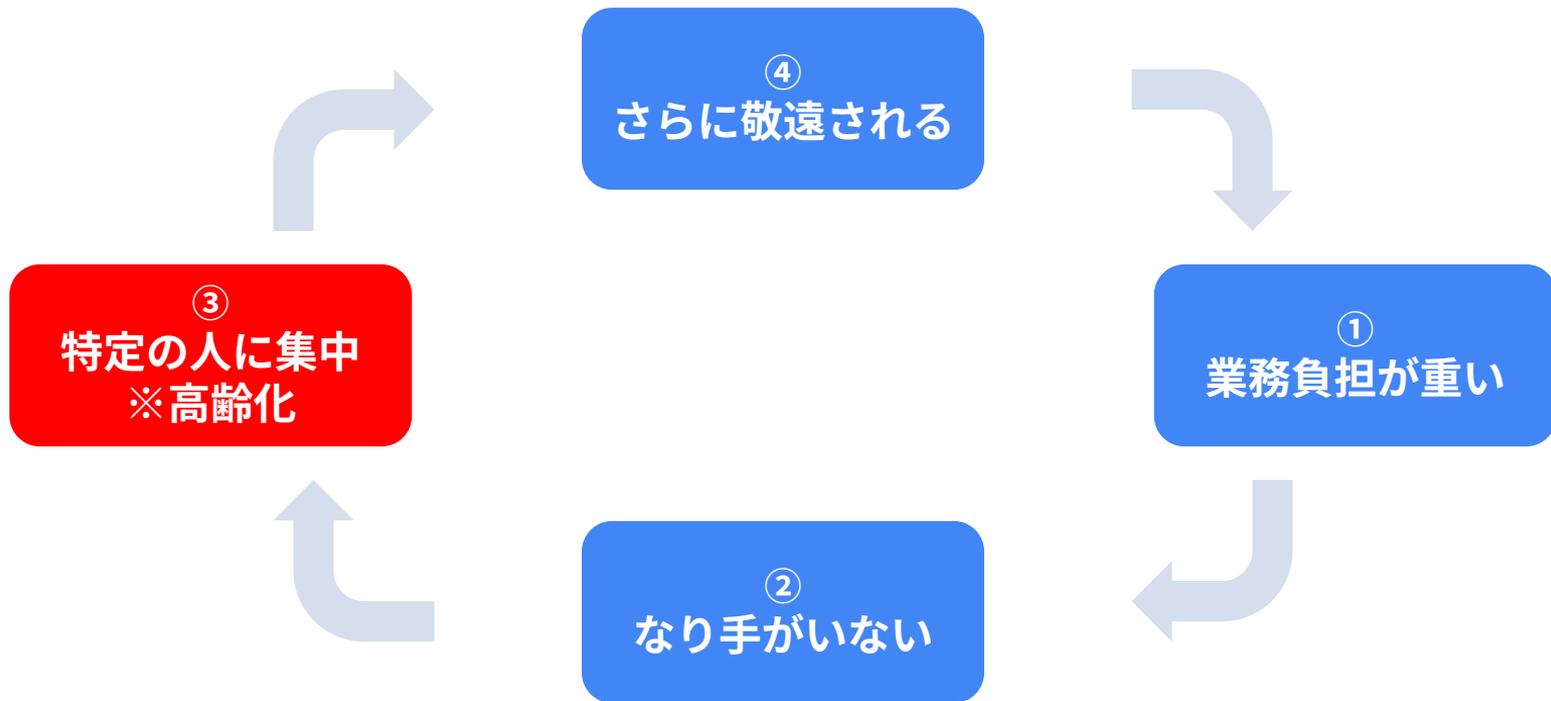
- 1 担い手不足解消・負担軽減に向けた取組：東月寒すずらん町内会
- 2 若者とのつながり（集合住宅へのアプローチ）：平岸高台第五町内会

01

1.担い手不足解消・負担軽減 に向けた取組

課題：役員の高齢化

病気や介護がない限り役員をやめられない



まずは役員の役割を磨きあげましょう

町内会のスリム化

不要と認められた
タスクを徹底的に
削減。
現役世代でも可能
な業務量へ



チーム化

「個人の負担」か
ら「チームの協
力」へ



位置づけ (マインドセット)

町内会活動を「義
務」の押しつけでは
なく、「社会貢献」
と位置づけ

町内会のスリム化（ミニマム化）

基礎的活動の維持

基礎的活動

- ゴミステーションの管理運営
- 情報共有(回覧板など)
- パートナースhip排雪
- 環境美化(清掃活動・花植え)
- 防災活動(防災訓練)
- 高齢者の見守り



ミニマム化を目指す場合、基礎的活動の維持を徹底します(不要と認められたタスクは削ります)。



チーム化

個人に責任を押し付けない

これまでの運営 (Before)

○役員個人に責任がある

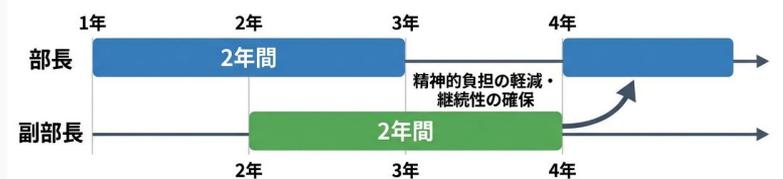
○役員で事業の全てを運営する

これからの運営 (After)

○役員複数制

役員負担を軽減するために、役員を複数制として代替わりがしやすいようにします。

・前任者と新役員が重複する期間を設けることができ、精神的負担が軽くなります。



○実行委員会制度・サポーター制度を導入し、部分的に(イベント等を)手伝う町内会員に協力してもらうことで負担を軽減します。

位置づけ（マインドセット）

「～しなければならない」から「～したい」・「～でありたい」へ

義務・負担・強制



共感・納得・参加

最初は断りたかった。仕事も忙しく、時間もありませんでした。正直、仕方なく引き受けました。

しかし



「やってみて気づきました。」
誰かがやらなければ。私たちの
安心・安全を守りたい。」

負担軽減の視点

やめる・減らす

不要な活動の廃止と縮小（P4、5参照）

デジタル化する

回覧板等のデジタル化

仲間を集める

役員以外の実行委員会、サポーター募集

仲間を集める

アンケート（仲間募集）による担い手不足解消、負担軽減を目指しましょう
※アンケートフォームの例が「町内会活動のヒント」に載っておりますので、ぜひご参照ください。

町内会活動のヒント(担い手不足)



[https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/
chounaikai/kadaikaiketsu/ninaitebusoku.ht
ml](https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/chounaikai/kadaikaiketsu/ninaitebusoku.html)

仲間を集める

東月寒すずらん町内会からの学び（アンケートをとるときは、不安に寄り添います）

不安等

高齢で体調も不安



無理は禁物です。アンケートには堂々と「できない」と書いてほしい旨記載します。

フルタイムで働いているので難しい



業務をスリム化し、負担にならないよう工夫していることと、「サポーター」として部分的な参加も歓迎することを記載します。

未経験だから不安



前任者がいるため「ひとり」にはさせないことを約束として記載します。

仲間を集める

東月寒すずらん町内会アンケート（仲間募集）結果

☑ アンケート回収率：95.6%

総世帯数：114



肯定的回答：21.9%（25世帯）

コアな役員だけでなく、18世帯の新たな支え手を獲得

「不可」の理由内訳：



・高齢・体調不良：41世帯



・仕事・育児：32世帯

負担軽減の視点

やめる・減らす

不要な活動の廃止と縮小（P4、5参照）

デジタル化する

回覧板等のデジタル化

仲間を集める

役員以外の実行委員会、サポーターの活用

デジタル化する

デジタル化がもたらす4つのメリット



つながりやすさ (Reach)

不在がちな共働き世帯や若者へ、確実に情報を届けられる。



緊急時の即時性 (Safety)

災害時や不審者情報など、紙では間に合わない情報をリアルタイム発信。



負担の軽減 (Efficiency)

印刷・配布の労力を削減。将来的なペーパーレス化への第一歩。



記録と継承 (Continuity)

クラウド保存により、役員交代時の引継ぎがURL共有だけで完了。

デジタル化する

最初は「完全デジタル化」ではなく「ハイブリッド運用」

会員のライフスタイルに合わせて、情報を受け取る手段を選べるようにする



掲示板・回覧板

継続



全世代への到達



LINE公式アカウント等

追加

紙派の安心感はそのままだ + 現役世代への即時情報伝達

デジタル化する

役員業務の効率化：連絡調整と引継ぎをスムーズに

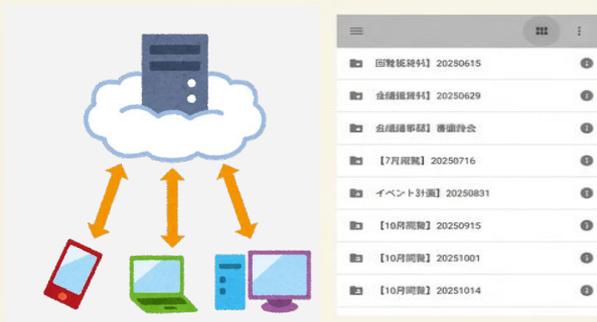
連絡調整 (Communication)



LINEグループの活用

- 役員間の連絡、日程調整をチャットで完結
- 電話連絡の手間と会議時間を削減

データ保存・引継ぎ (Storage & Handover)



クラウドストレージの活用

- 「あの資料どこ？」を防ぐ一元管理
- 次期役員へはURLを共有するだけで引継ぎ完了
- USBメモリ紛失のリスクを回避

デジタル化に不安がある場合は、「町内会アドバイザー派遣制度等」をご活用いただくことも可能です。
問合せ：札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課 (TEL: 011-211-2253)

負担軽減の視点

やめる・減らす

不要な活動の廃止と縮小（P4、5参照）

デジタル化する

回覧板等のデジタル化

仲間を集める

役員以外の実行委員会、サポーターの活用

やめる・減らす

取組を整理：東月寒すずらん町内会



見守り活動

福まちの負担を増やすのではなく、重複をなくした



福祉厚生部と福まちの役員の兼務をなくし、
町内会の業務をカット

2. 若者(子育て世代)とのつながり ～集合住宅へのアプローチ～

若者（子育て世代）とのつながり

多くの町内会が抱える「共通の悩み」

1. 集合住宅へのアプローチの壁

 区域内にはアパートやマンションが多いが、約140世帯が未加入。

 オートロックや生活スタイルの違いにより、従来の回覧板や訪問では接点を持ってない。

2. 役員の固定化と負担感

 役員が高齢化・固定化しており、新しいイベントを企画する体力やノウハウが不足。

 「若い人に来てほしいが、これ以上仕事を増やしたくない」というジレンマ。

負担を抑えたスモールスタートのイベント



※チラシのフォーマットについては地域振興課へお問い合わせください。
2種類程度ご案内できます。

若者（子育て世代）とのつながり

① ゴミステーション（未加入者に届く場所）の活用



② ハードルを下げる



（平岸高台第五町内会）🎄 クリスマス スポッチャ大会 参加申込みフォーム

Ｂ Ｉ Ｕ ｓ

子どもが心を癒やります。みんなを癒やし命をニュースポーツ「スポッチャ」で、笑顔いっぱいクリスマスをお過ごしませんか？
親子やご近所でお参加も大歓迎！初めての方でもスタッフがサポートして安心してください。

開催日：12月14日（日）19:00～11:00
●会場：平岸高台第五町内会（14丁目平岸平野学園二階27号）
●参加費：無料
●対象：お子さんから高齢の方まで、どなたでも参加可！

下記申込みフォームは登録情報をもとに入力し、お申し込みください。
お申し込み後、お申し込み確認メールが届きます。お申し込み後、お申し込み確認メールが届きます。
お申し込み後、お申し込み確認メールが届きます。

お申し込みの締め切り：12/12日 18:00まで

この件に関するお問い合わせ

平岸高台第五町内会 ●●● 電話：_____

代表氏名

代表氏名

- チラシにQRコードを掲載し、Googleフォームで24時間受付可能に。
- 実際にWeb経由での申し込みがあり、これまで接点のなかった層を捕捉。

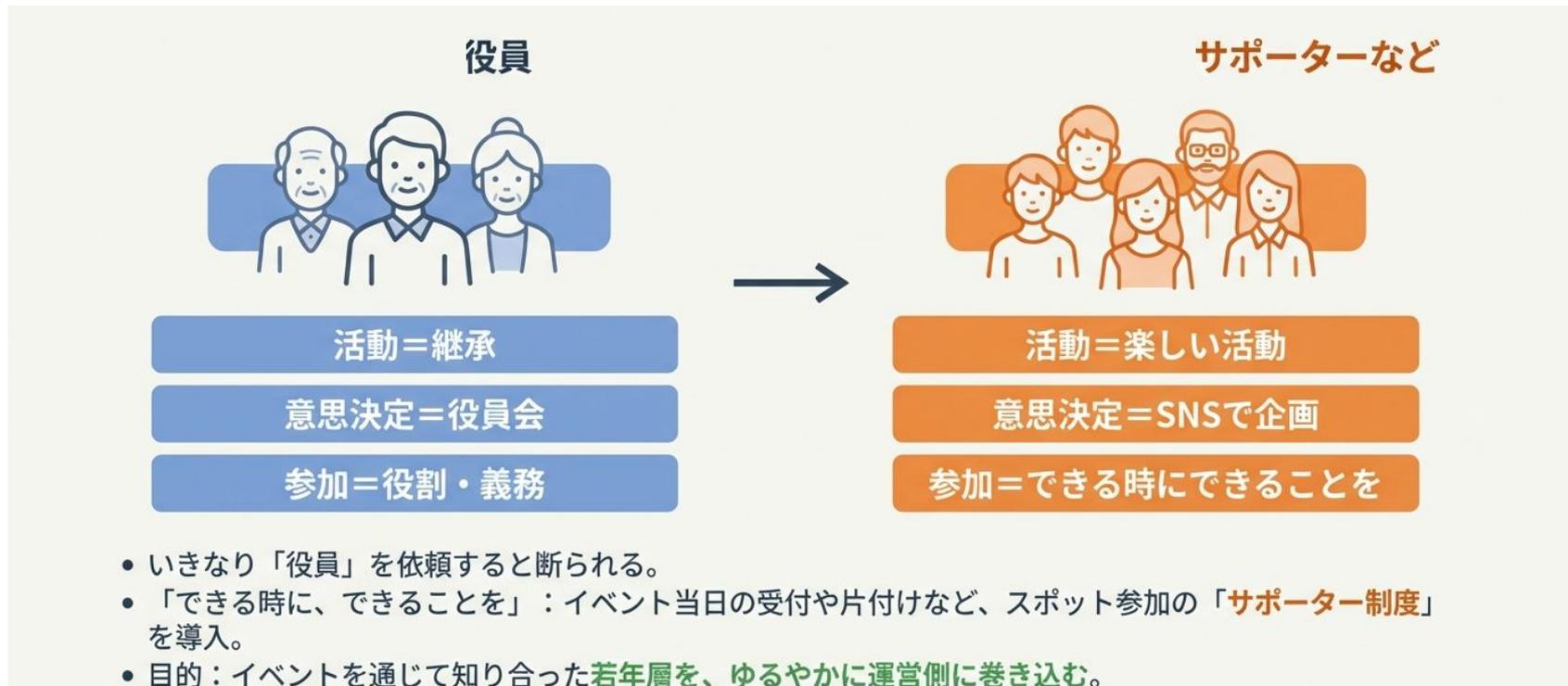
町内会活動のヒント(担い手不足)に
Googleフォームの作り方が載っています



<https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/chounaikai/kadaikaietsu/ninaitebusoku.html>

若者（子育て世代）とのつながり

③自分達だけで頑張らない（サポーター制度導入）



若者（子育て世代）とのつながり



Before



「子供向けイベント
は準備が大変そう」
「負担が増えるのは
嫌だ」



After



「やってみると、
子供たちの楽しげ
な様子が嬉しく、
実施してよかった」

義務感ではなく「**楽しさ**」が原動力になれば、
活動は**持続可能**になる。

若者（子育て世代）とのつながり

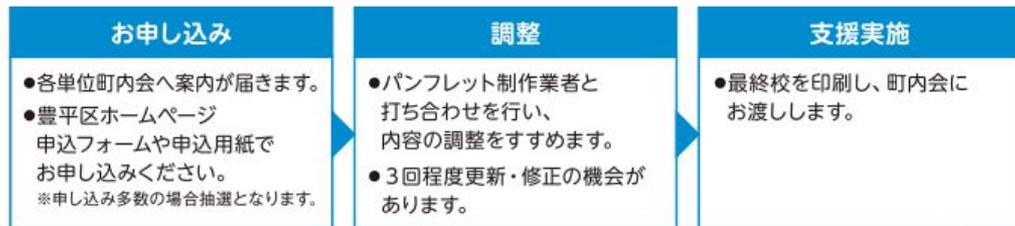
町内会で何をしているのかを明確にし、「何をするのか不安」「大変そう」というイメージを解消しましょう。

町内会活動ガイド作成支援

◎問合せ：豊平区地域振興課（Tel:011-822-2427）

「町内会の活動を地域の人に知ってもらい、参加してほしい!」
 「町内会加入を勧める際に、地域を紹介できるものがほしい!」
 ▶ という町内会のために
 ▶ ガイドの作成を支援いたします。

▼支援までの流れ



ガイドを作成し、町内会の活動を明確にすることで、不安の解消につなげましょう。
 町内会の加入について説明するときにも便利です。

POINT! 冊子を作るときは、届けたい相手を意識して、その人が知りたいと思う内容を記載しましょう!

例) 子育て世代:子ども向け行事・交流イベントの情報等、高齢者:見守り制度や健康促進行事の取組紹介等



SAPPURO